

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	島田市			代表者名	染谷 絹代
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	市町戦略部DX推進課	連絡先電話番号	0547-36-7969
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	村上 順哉	連絡先E-mail	
住所	427-8501 静岡県島田市中央町1番の1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	デジタル人材育成事業
概要	本市ではDX推進計画に基づき各種取組を進めてきました。令和8年度からは第2次DX推進計画を始動する予定であり、これまでの取組を次の段階へと展開していき、市民サービスの向上と業務効率化を一層推進していく必要があります。今回、地域情報化アドバイザーの派遣を通じて、庁内全体の取組を再加速させたいです。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年12月18日	講演(実地)	9時30分	15時30分	60
				活動時間（分）	300
2-2. 派遣場所	会場名	島田市役所	最寄駅	島田駅	
	所在地	静岡県島田市中央町1番の1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	千葉 大右
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	派遣アドバイザーは、自治体での実務経験を生かし、分かりやすく丁寧な説明を行っていただいた。社会全体の動向を踏まえ、自治体DXの必要性を体系的に理解できる内容であり、他自治体の先進事例や、実際のDX推進における課題についての説明も参考になった。受講者がDXを自分ごととして捉える契機となり、非常に有意義な研修であった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	103人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	103			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本市におけるDX推進は一定の成果を挙げていますが、職員間の理解度や取組姿勢には温度差があり、全庁的な推進力には未だ課題があります。管理職層においても、DXの必要性を自らの業務や組織運営にどのように結び付けるかが重要であり、また推進リーダーにおいても個々の熱意やスキルに依存している状況です。そのため、「なぜDXが必要なのか」「DXを自分ごととして捉えるにはどうすべきか」といった根本的な意識改革を図るとともに、国の最新動向や先進事例を踏まえた実践的な知識を得ることが急務となっています。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	最終目標は、部課長及び推進リーダーが共通の理解と問題意識を持ち、所属部署におけるDX推進を主体的に実践できる状態をつくることです。これにより、庁内における業務改善や市民サービスのデジタル化を円滑に進め、住民がより便利で質の高い行政サービスを享受できるようにすることを目指します。達成が見込まれる時期は令和8年3月末とし、本研修を通じて庁内のDX推進体制の基盤を整え、次年度以降の取組へとつなげます。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	まず、「なぜ今、自治体DXが求められるのか」について、社会全体のデジタル化の進展や人口減少・人手不足といった自治体を取り巻く環境変化を踏まえ、DX推進の必要性について解説いただいた。次に、「行政デジタル化の歩み」として、これまでの行政における情報化・電子化の流れを整理した。さらに、「自治体DXの実践とマネジメント」については、講師自身の自治体での実務経験を基に、DXを進める際の進め方や組織内調整のポイント、留意すべき課題など、実践的な視点からの講義が行われた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	派遣アドバイザーによる支援により、自治体DXに対する理解が深まり、DXを単なるデジタル化ではなく、業務や組織の在り方を見直す取組として捉えることができるようになった。他自治体の事例や実体験に基づく講義を通じて、DX推進への心理的なハードルが下がり、各所属における具体的な取組を検討するための共通認識が形成された。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	本研修の成果物として、自治体DXに関する基礎的な知識や視点が受講者間で共有され、DXに対する理解の整理が図られた。社会全体の動向や行政デジタル化の歩みを踏まえ、自治体DXを進める上での考え方や留意点について、組織内で共通の土台を構築することができた。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートはこれから実施する予定です。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
	今年度は、本研修の実施により一定の成果が得られたため、同様の研修は実施しない。一方、DXを取り巻く環境は変化が速く、職員の継続的な知識更新が不可欠であることから、来年度においては同様の研修の実施を検討している。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	本事業は、職員がDXを自分ごととして捉え、デジタルを活用した業務改革や行政サービスの向上に主体的に取り組むことができる人材を育成し、組織全体でDXを継続的に推進できる体制を構築することを最終的な目標とする。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

